

根岸富男さんプロフィール

神奈川県立高校教員 東京学芸大学大学院卒 専攻は哲学

東京生まれ、高校教員になって神奈川へ。

1983年に神奈川県高校教員となって、神奈川県高等学校教職員組合（神高教）の教育研修活動：原子力読本編集委員会に参加。以来、原子力・環境問題に関わり続ける。1989年日本教職員組合の教育研究全国集会（全国教研）環境・公害問題分科会にて、原子力読本を用いた授業実践について報告。当時、同分科会の共同研究者であった故高木仁三郎氏に出会い、教えを受ける。高木氏の後任の故宇井純氏（東大『公害原論』）にもお世話になり、氏が提唱した全国環境教育ネットワークに設立以来参加、現在はその幹事。

2003年、崎山比早子氏らと原子力教育を考える会を結成し、現在同会のHP『よくわかる原子力』の管理人。崎山氏が国会事故調査委員となった際には、国会事故調の調査員として活動。

現在、元京都橘大学教授・チェルノブイリ子ども基金理事：小寺隆幸氏らの主宰するエネルギー・原子力教育研究会に参加、2015年にはベラルーシ調査団に同行。

また、東京農工大教授：朝岡幸彦氏らによる、日本環境教育学会：原発事故後の福島を考えるプロジェクト研究にも参加。

著作：『原子力読本Ⅱ』1998、『環境教育はじめの一步』2002、『放射線の大研究』『原子力がわかる事典』2012：（PHP研究所の子ども向け書籍）、（いずれも共著）